

# TS-C1730 II

**INPUT 180W MAX.**

カーステレオ用埋込型スピーカー 17 cmコアキシャル2ウェイ

# TS-C1630 II

**INPUT 160W MAX.**

カーステレオ用埋込型スピーカー 16 cmコアキシャル2ウェイ

正しくご使用していただくために、必ずこの取扱説明書を最後までお読みください。お読みになったあとは、保証書と一緒に大切に保管してください。また、お車への取付けは、販売店様にご相談ください。尚、車種、年式、グレードによって取付情報を確認する必要がありますので、適合車種の詳細については、販売店様にご相談ください。

- ・本スピーカー取付後、取外した車両部品を逆の手順で取付けてください。
- ※この取扱説明書は、令和3年7月現在の調査情報に基づいています。車種によっては、それ以降に車両の追加や変更が行われる場合があります。その際、取付けの仕方が変わっている場合があります。
- ※本取付例は、運転席側を元にして説明しています。助手席側は、運転席側を参考にしてください。
- ※ドアや後席側面などは、雨水が回りこむことがあるため、必ず付属のバッキンを取扱説明書にしたがって取付けてください。ウーファー部は防水仕様となっておりますが、車種によっては、別途防水対策の必要な場合があります。特に、純正の防水カバーを外す必要があるときなどは、現車に合わせて万全な防水対策を行ってください。
- ※インラインネットワークは防水仕様になっていませんので水のかからない場所に設置してください。
- ※本製品に付属のインラインネットワークを必ずご使用ください。
- ※スピーカーを取付ける際、適合上は取付可能であっても、車両の個体差により取付けた商品が車両側に干渉する場合があります。その場合は、別途内張り（グリル部の裏側など）の加工を行ってください。
- ※車種によっては商品の取付後、内張りなどにビリ音が発生する場合があります。その場合は別途ビリ止め対策を行ってください。
- ※端子が車両に当たらない方向で取付けてください。
- ※ハイレゾ品質での音楽再生をより確かなものとするためには、プレーヤーからスピーカーまで全てハイレゾ対応製品でカーオーディオシステムを構成することをお勧めします。

**Hi-Res AUDIO** 当社は日本オーディオ協会のハイレゾ定義に準拠した製品にこのロゴを冠して推奨しています。ロゴは登録商標です。

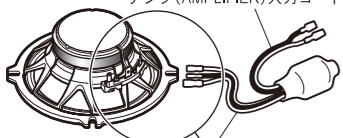
## 接続方法

**注意** 接続部の端子が絶縁カバーで覆われていることを確認し、カバーが外れないようテープなどを巻いて固定してください。端子が車両の金属部に接触すると、火災や故障の原因となります。

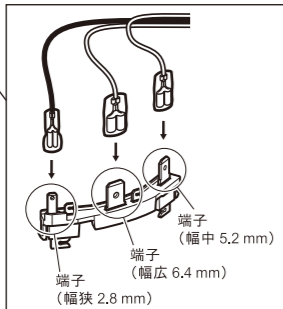
### TS-C1730 II

アンプ (AMPLIFIER) 入力コード

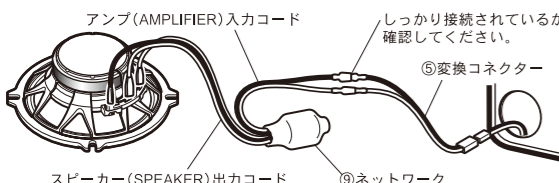
**注意** コネクターを引き抜く際はコネクター部をつかんで引き抜いてください。コード部を引っぱるとコードが断線する恐れがあります。



スピーカー端子にコネクターをしっかりと差し込みます。スピーカーを破損する恐れがありますので、接続の際は接続箇所を十分に確かめてから接続してください。



ネットワーク⑨のアンプ (AMPLIFIER) 入力コードに変換コネクター⑤を接続し車両側ハーネスに接続します。

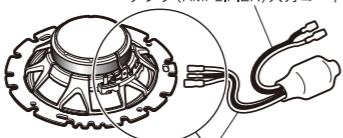


※車両のコネクター形状によっては接続アダプター⑥を使用します。

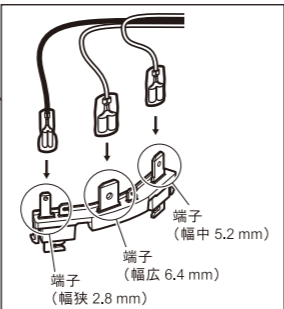
### TS-C1630 II

アンプ (AMPLIFIER) 入力コード

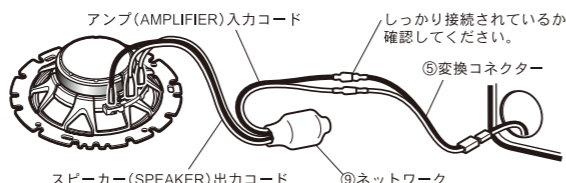
**注意** コネクターを引き抜く際はコネクター部をつかんで引き抜いてください。コード部を引っぱるとコードが断線する恐れがあります。



スピーカー端子にコネクターをしっかりと差し込みます。スピーカーを破損する恐れがありますので、接続の際は接続箇所を十分に確かめてから接続してください。



ネットワーク⑨のアンプ (AMPLIFIER) 入力コードに変換コネクター⑤を接続し車両側ハーネスに接続します。



※車両のコネクター形状によっては接続アダプター⑥を使用します。

## ウーファー部 (取付手順)

### TS-C1730 II

#### ●取付前の準備

スピーカーの裏面に防振バッキン④を貼付けます。

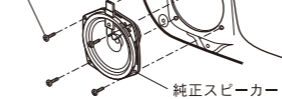


#### ●ウーファー取付手順

1. 内張りの取外し  
●車種別内張り取外し手順を参照してください。

#### 2. 純正スピーカーの取外し

純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して純正スピーカーを取外します。



#### 3. スピーカーの取付け

付属のコードを使用し、車両とスピーカーを接続します。  
※詳細は●接続方法を参照してください。

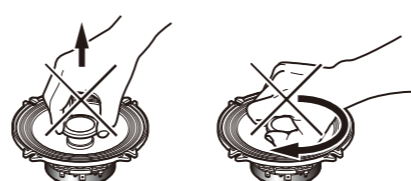


**注意** 端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。接触すると火災や故障の原因となります。

4. 内張りを元通りに取付けます。  
取付方法は、取外しと逆の手順で行います。
5. 取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

#### ●破損防止のためのご注意とお願い

本スピーカーを取り扱う際、ツイーター部を持ちたり回転させたりしないでください。破損する恐れがあります。



#### ●車種別内張り取外し手順

車両の内張り取外し手順については「カロッツェリア車種別 JUST FIT Web 版 (PC/スマートフォン用)」にて詳細情報をご確認ください。

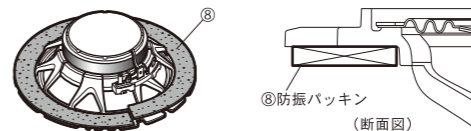
URL: <https://pioneer.jp/ja/carrozzeria/support/justfit/>



### TS-C1630 II

#### ●取付前の準備

スピーカーの裏面に防振バッキン⑧を貼付けます。



#### ●ウーファー取付手順

1. 内張りの取外し  
●車種別内張り取外し手順を参照してください。

#### 2. 純正スピーカーの取外し

純正スピーカー取付ネジおよび配線コネクターを外して純正スピーカーを取外します。



#### 3. スピーカーの取付け

付属のコードを使用し、車両とスピーカーを接続します。  
※詳細は●接続方法を参照してください。



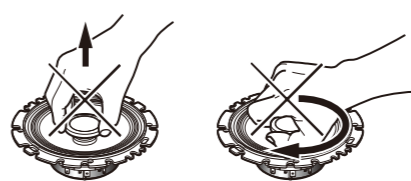
#### 注意

端子が車両鉄板と接触しないことをご確認ください。接触すると火災や故障の原因となります。

4. 内張りを元通りに取付けます。  
取付方法は、取外しと逆の手順で行います。
5. 取付終了後、スピーカーから音が出ること、およびパワーウィンドウやドアロックなどが正常に動作することを必ず確認してください。

#### ●破損防止のためのご注意とお願い

本スピーカーを取り扱う際、ツイーター部を持ちたり回転させたりしないでください。破損する恐れがあります。



## ネットワーク部

#### ●ネットワークの固定方法および配線処理方法

ネットワークやコードの余長はロックタイ⑪で車両の純正ハーネスなどに固定してください。その際、ドアガラスなど、車の可動部分に接触しない場所に設置してください。ネットワークは防水仕様になっておりませんので水のかからない場所に設置してください。

## ウーファー部 (コネクター接続)

### TS-C1730 II / TS-C1630 II

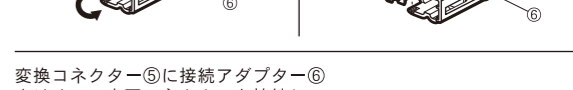
#### [車両コネクター形状一覧]

A	B	C	D
主にホンダ車	主にトヨタ/三菱車	主に日産車	主にスズキ/タイハツ車

[車両コネクター形状がAの場合]  
変換コネクター⑤と車両コネクターを接続してください。クッション⑩を使用してコードの余長をたばねることもできます。

[車両コネクター形状がBの場合]  
接続アダプター⑥のツメをはめてください。

[車両コネクター形状がC、Dの場合]  
接続アダプター⑥のツメを切取ってください。



変換コネクター⑤に接続アダプター⑥をはめて、車両コネクターと接続してください。



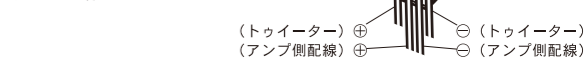
クッション⑩を、接続部に巻いてください。



[三菱車で車両コネクター形状がDの場合]  
接続(変換コネクター⑤、接続アダプター⑥使用)時、本商品のみ極性が逆になりますので、必要に応じて配線加工を行ってください。

[車両コネクター形状がA~D以外の場合]  
極性に注意して配線加工を行ってください。

(マツダ車の例)  
車両コネクターが4P端子の場合は、アンプからの配線(内側の2本)を使用して配線加工を行ってください。



#### ジャンパーコネクター使用方法 (TS-C1730 IIのみ付属)

●純正ツイーターの配線について  
純正ツイーターを外すとドアスピーカー部に信号が流れなくなる車種があります。その場合は、純正ツイーター用コネクターをバイパスさせる配線加工が必要となります。  
車種によっては、ジャンパーコネクター⑧を使用することで純正ツイーター用コネクターをバイパスできる場合があります。



## 付属品 [ウーファー、インラインネットワーク用]

### TS-C1730 II

- ① φ4 mm × 16 mm × 8
- ② φ5 mm × 16 mm × 8
- ③ φ12 mm × φ5.5 mm × 8
- ④ 防振バッキン(太) × 1
- ⑤ 変換コネクター × 2
- ⑥ 接続アダプター × 2
- ⑦ クッション (接続アダプター用) × 2
- ⑧ ジャンパーコネクター × 2
- ⑨ ネットワーク × 2
- ⑩ クッション × 1
- ⑪ ロックタイ × 4

### TS-C1630 II

- ① φ4 mm × 16 mm × 8
- ② φ5 mm × 25 mm × 8
- ③ φ12 mm × φ4.5 mm × 8
- ④ φ13 mm × φ6 mm × 12
- ⑤ 変換コネクター × 2
- ⑥ 接続アダプター × 2
- ⑦ クッション (接続アダプター用) × 2
- ⑧ 防振バッキン × 1
- ⑨ ネットワーク × 2
- ⑩ クッション × 1
- ⑪ ロックタイ × 4
- ⑫ スピードナット × 6

# 純正トゥイーター取外し手順

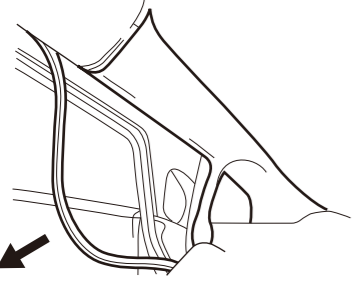
トヨタ プリウス (H21/5~H27/12) / プリウス PHV (H24/1~H29/2) / プリウス α (H23/5~R3/3)

**警告** 「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容」です。

**強制** 本製品を取付ける際に純正ダッシュスピーカーを外すと、フロントドアスピーカー部には信号が流れません。従って、純正ダッシュスピーカーを使用しない場合には、純正ダッシュスピーカー用配線の4Pコネクター部に付属のジャンパーコネクターを接続する必要があります。その際は、エアバッグが装着されているAピラー部分の取外し、取付けが必要になります。Aピラー部分の装着にはエアバッグ作動時の飛散防止のため、特殊なクリップが使用されています。このため、Aピラー部分の取外し、取付けには専門知識が必要ですので、取付業者またはカーディーラーなどでの作業が必要となります。

取外し手順(図は助手席側の説明です。運転席側は対称になります。)

■ウェザーストリップを外します。

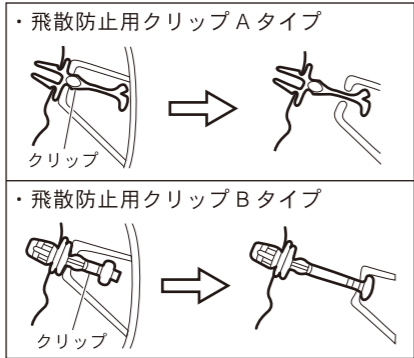


**注意** 作業中に取外したパーツのとがった部分や車両鉄板のバリなどでケガをしないよう十分にご注意ください。手袋の装着を推奨します。

■Aピラートリムを外します。

トリムのクリップ類の勘合を外し、飛散防止用クリップがトリムに引っかかった状態にします。

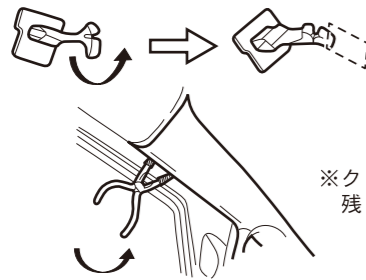
※車種により装着されている飛散防止用クリップが異なります。



**注意** 作業時は内蔵されているエアバッグを傷つけないようご注意ください。また、工具類を使用して取外しを行う場合は、先端が鋭利なものは使用しないでください。

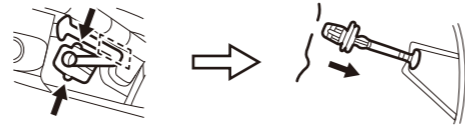
○飛散防止用クリップの取外し(取付け)方法

・Aタイプの場合  
＜取外し＞  
保護テープを巻いたラジオペンチを使用してクリップを90°回し、トリムの角穴から抜きます。



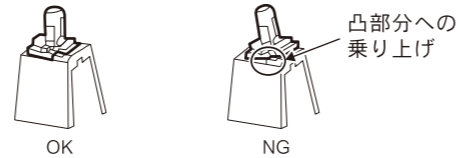
※クリップは車両側に残ります。

・Bタイプの場合  
＜取外し＞  
クリップの両サイドのつまみを押しながらピラーから抜きます。



※クリップはトリム側にぶら下がる形になります。

＜取付け＞  
トリムを元に戻す場合は、飛散防止用クリップをトリムにはめ込んでからピラーに勘合させます。クリップはトリムの凸部に乗り上げないようにして取付けてください。



**注意** 飛散防止用のクリップは取付手順を参考に確実に復元させてください。クリップやトリムが正しく復元されていない場合は、エアバッグ展開時にトリムが外れてケガをする恐れがあります。

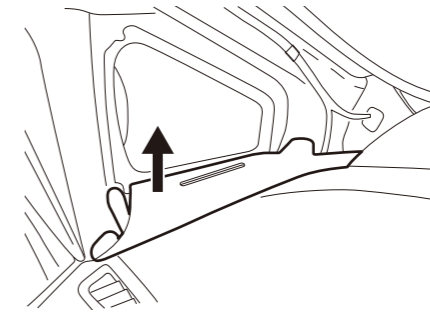
**注意** 作業時はクリップやその他車両のパーツを傷つけないようご注意ください。

**強制** 飛散防止用クリップにダメージがある場合や破損した場合は必ず新品に交換してください。

飛散防止用クリップ取外し後、トリム根元のフックを外し、Aピラーからトリムを取外します。

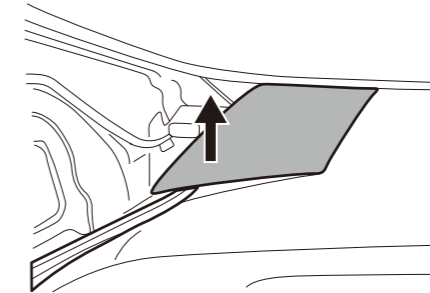
■インパネサイド・ガーニッシュを外します。

ガーニッシュを上方に外します。



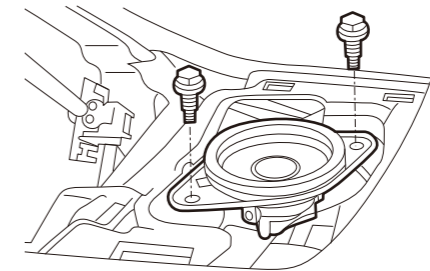
■トゥイーターグリルを外します。

グリルの手前側から上方にこじってツメを外し、前方側のフックを外します。



■純正トゥイーターを外します。

取付ネジ2本を外し、コネクターを取外します。



※取付ネジやスピードナットを落とさないようご注意ください。

**強制** パーツ(クリップなど)の破損、紛失時は新品に交換してください。

**carrozzeria**

© PIONEER CORPORATION 2021

パイオニア株式会社 〒113-0021 東京都文京区本駒込2-28-8 文京グリーンコート <TRA2280-A/VI>